

第5回倉敷市総合計画審議会 第1分科会議事録（要旨）

会議名称	第5回倉敷市総合計画審議会 第1分科会（子ども・子育て・教育）	
開催日時	令和2年7月10日(金) 10:00～12:00	
開催場所	倉敷市役所 10階大会議室	
出席者 ※敬称 略	審議会 委員	小川 洋一, 小倉 智美, 佐藤 均, 竹内 京子, 藤原 薫子, 前田 勝則, 横溝 誠子
	市職員	企画経営室長, 総合計画策定研究班員ほか担当部署職員, 事務局
傍聴者	傍聴者	なし
関係者	関係者	委託事業者
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 現況及び今後のスケジュールについて 3. 総合計画（協議） 4. その他 5. 閉会 	

1. 開会

2. 現況及び今後のスケジュールについて

(事務局が資料を説明)

3. 総合計画（協議）

質疑応答

分科会長	では審議に入ります。基本計画の各項目について、意見をお願いします。
委員	この計画の検討を開始した時にはコロナはなかったが、コロナ渦中となり、ポストコロナを見据えた総合計画にしなければならない。教育の分野であればリモート教育、遠隔授業等の基盤などについて、基本構想や基本計画等に入れる必要がある。計画作成当初とは環境が変わってきており、配慮せざるを得ないと思う。コロナでわかったことは、日本はITが非常に遅れていることだ、小中高にパソコン1人1台を配布することを国が強力に進めていると聞く。また、リモート教育だけではなく、登校できなかつた部分を補うための夏休みの集中授業等のため、エアコンの整備等が必要といったことに対して市民は関心を持っており、コロナに関連する内容を多く取り上げる必要があると考える。市民の主な関心はコロナがすべてで、それを無視することはできないと思う。
分科会長	様々な項目に盛り込む必要があると思う。先生方は、リモート教育、児童生徒にパソコンを使って伝えたいという熱い思いがあっても、環境が整っていない家庭があるため、不公平になってはいけないので進められないというニュースもあった。そこは早急に改善していく必要があると思う。
市	実際、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、学校・園は臨時休業になり、十分な学習時間の確保が困難だという現状があった。そのため、112頁の5-6「先端技術が生活に溶け込んでいる」、現状と課題の2項目目で、次世代高速通信を利用したリモート教育やオンライン教育について触れている。 新型コロナウイルスの関係はすべての項目に関わってくるが、今後10年を見据えてという視点で、今盛り込むことが妥当か各部局も悩んでいるところ。今は、第3・4分野において触れさせて頂いている。
委員	新型コロナウイルスについて取り上げることは必要だ。これからはなくなることはなく、収束しても第2波、第3波もある。これまでサーズやマーズ等もあり、似たようなことが必ず出てくると言われているので、計画の冒頭の辺りで触れる必要があると思う。
委員	コロナを経験したことから、オンライン授業の必要性を感じているということは入れるべきだと思う。また、いじめの部分で偏見をなくす教育等にも関連すると思うので、後半ではなく、教育の部分に入れるこ

	とを要望する。
分科会長	では、項目ごとに順に。1-1については。
委員	非常に評価している多文化共生、国際交流について、総合計画では最初に取り上げていただいて、非常にありがたいと思います。また、基本方針の下の二つ、「平和の尊さ」や「国際交流（国際平和交流）」が含まれていることに対して喜んでいますが、全体的な印象は、以前に分科会等で話したことがきちんと入っているし、非常にできがよいと感じている。
委員	基本方針の2つ目に、「性別にかかわらず」とあるが、若いお母さんから年配の方もいるし、性別だけでなく年齢も入れてはどうかと思う。
分科会長	エイジハラスメントも問題になっている。他にはないか。
委員	29頁の表現方法に、「～の社会の実現をめざします」とあるが、現在も頑張っていて更に推進するという意味合いがなければ、今できていない、努力していないと受け止められてしまう可能性があり、表現方法を工夫してほしい。
分科会長	基本方針の1つ目か。
委員	他にもたくさんあり、同じ表現にする必要はないが検討してほしい。
分科会長	確かにまったく取り組まれてないのではと捉えられてしまう。
委員	「さらに推進します」といった表現ではどうか。
分科会長	そうした表現で検討頂ければと思う。では1-2についてどうか。
委員	法務局が設置している子どもの人権110番をはじめて知った。調べてみたが、31頁、基本方針5つ目の「関係機関と連携を図り」とある関係機関とはどこまでのことか。これは市の計画だが、県の児童相談所や国の人権110番等が、どこまでの連携と捉えているのか気になった。
委員	例えば「このような関係機関がある」という例示もよいのでは。
委員	市職員だけで解決できない問題も潜んでいると思う。法務局のHPに「子どもをめぐる人権問題は、周囲の目につきにくいところで発生していることも多く」とあるが、まさにそうだと感じている。そうした窓口が市や県、国での受入体制につながると思う。市職員の方がどこまで関わっていくのか詳しくはわからないが、その範囲はどうか。
市	関係機関がどこかわかりにくいので、具体を担当部局と相談する。
委員	31ページの3つ目、「生徒指導において、校種間での連携を図り、一体となった指導に努めます」とあるが、校種間の中に家庭が入っていないため、「家庭との情報共有を図りながら」など、一方的なワンサイドではないというところがあるとよいと思う。また、全体的にいじめや不登校等の記載はあるが、相談窓口がどうなっているのかが気になり、どこかに文言を入れてもらうとより充実するのではないか。
分科会長	家庭との連携は非常に大切だと思う。
委員	今後の課題の3つ目の「校種間」について、先ほど家庭と言われたが、保育園や幼稚園から小学校にあがるタイミングでの小1プロブレ

	<p>ム等も言われるため、園も入れてはどうかと思った。</p> <p>次の4つ目、「小学校の早い段階」は、「小学生」の方がよいと思う。</p> <p>加えて、先ほどのコロナ関連で、基本方針の2つ目の「適切な利用ができるよう情報教育機会に努めます」の辺りに、「家庭でのICTやITを使った家庭学習も充実を図ります」などを入れることで、コロナという言葉を入れなくても良いのではないか。</p>
市	<p>教育委員会としては当然そうしたことをしていくが、1-3でICTについて触れることになると思う。また、指摘された表現は、整理して示したい。</p>
分科会長	<p>では1-3について。</p>
委員	<p>子どもの健やかな成長や学習とあるが、倉敷市がめざすキャリア教育がどのようなものかわからない。例えばグローバル化等に触れるなら、考える力を養う、ディベートなど具体的なものが入るとよりわかりやすいと思う。</p>
市	<p>基本方針部分に具体的なことがあると分かりやすいということか。</p>
委員	<p>そうだ。</p>
委員	<p>基本方針の6つ目の学校の老朽化について、市内の小中学校のエアコン設置率はどの程度か。</p>
市	<p>小中学校は、普通教室と特別支援学級、すべてに設置した。ふだん、子どもたちが学ぶ場所にはついた状況だ。</p>
委員	<p>特別教室は未設置で、理科室でバーナーを使用すると非常に暑く、子どもたちは考える力が全く出ないと聞いたこともあり、今後の課題としてほしい。</p>
委員	<p>教育の資質が保たれているという点において、先生方は様々な学習やそれに伴うスキルアップ等で非常に負担が大きいと思う。時間がないうちで一生懸命されているが、人員配置や体制が変わらないため、子どもたちに教えたければ教えられるような状況が増えているのではないかと思う。今回の基本目標のターゲットは子ども目線だが、教職員目線の部分があまりないのではないかと思う。後の項の、障がいを持たれている方の部分でも専門的なスキルも必要で、今後、根本的な教育のあり方や体制をしっかりと考えていく必要があると思う。追記できるのであればお願いしたい。</p>
市	<p>子ども目線で作っているが、市の総合計画のため、教職員の配置や増員、働き方改革等は、県へ要望していく立場となるため、計画の中で、こうしていくといった内容を盛り込みにくいという現状がある。</p>
委員	<p>今の話で、発達障がいの部分で専門家の力を借りるということは今後必要で、家庭もそれを望んでいる。先生方が時間のないうちで勉強するだけでなく、家族も専門家の意見を聞きたいと聞いており、どこかに入れてはどうかと思う。</p>
委員	<p>それに加え、中学校の部活動でも、教員ではなくて専門知識のある人が指導をすることで、教員は負担が減り、もっと子どもに目を向けるこ</p>

	<p>とができると思う。倉敷市や県の考えもあると思うが、障がい者や普通クラスでない子どもたちに関しても、部活動等で専門家の力を借りるなどをもう少し入れてはどうか。そうした時代になっていくとよい。</p> <p>私の学校は、少子化で4クラスが2クラスになり先生も減ったが、部活の数は私が通っていた時代から減っていない。そうすると、部活専門の先生が一人、副顧問は掛け持ち等になっている。大会には先生が運営委員として行くため、生徒は保護者が見ることになり、熱中症等になることもあった。教育だけではなく部活動等でも専門家等の力を借りられるとよいと思う。</p>
市	<p>1-3は学校教育が中心で、教職員の資質向上等についても触れている。専門の方のサポート等を入れるなら1-7で、学校だけでなく他との連携、部活動の指導に来てもらうなどを検討することになると思う。</p>
分科会長	<p>障がい児への専門の支援員等は大事だ。教員の倉敷市での採用が可能になると、市のありたい姿に近づくことができるかもしれない。</p> <p>特別支援教育でも、大学で特別支援を専門に学ぶ学生も増えており、先生方の研修も大事だが、大学で専門に学んだ人の割合を増やすことも大切で、そうした視点も盛り込むことができると良いと思う。</p>
委員	<p>基本方針の6つ目「時代の変化を見据えて、環境に配慮し、だれもが利用しやすい設備整備に努めます」に、今後のICT、IT化の設備、学校にWi-Fiを入れるなどの内容も追加を。「時代の変化を見据えて」の辺りに関わってくるため、入れてもらえれば、考えていることがわかりやすいと思う。</p>
分科会長	<p>「時代の変化を見据えて、環境に配慮し」に含まれていると思うが、もう少し表に出た方が良いということだ。</p>
委員	<p>ICTという単語は32頁に出てくるが、33頁にはない。</p>
委員	<p>もう少し、そういった要素を入れた方がよいと思う。</p>
分科会長	<p>では1-4については。</p>
委員	<p>この頁に余白があれば、倉敷市にある自然に関する施設や自然を体験できる施設等を入れると良いと思う。</p>
市	<p>現状の4つ目に「自然についての学び場の老朽化」等を記載しているが、もう少し具体的になるよう検討する。</p>
委員	<p>今後の課題の3つ目「やりがいを感じられる支援等が必要です」に、「支援や仕組み」という言葉を入れてもらえると良いと感じた。</p>
分科会長	<p>1-5について意見はないか。</p>
委員	<p>現状、地域のつながりの希薄化や核家族化だけでなく情報が多角化していることで悩んでいる部分もあり、そうした文言が入ればより具体的だと思う。</p> <p>子ども・子育て・教育にも関わってくるので、今は妊娠している人または望んでいる人の内容になっているが、望まない妊娠もあり、それを防ぐための教育や人生設計をするための教育もこの部分に入れると良いと思う。福祉と教育は局が分かれているが、ここでは子育てと教育が</p>

	一緒の分野になっているので、合わせることができれば、より大きな目標になってよいと思う。
分科会長	1-6についてはどうか。
委員	39頁の3つ目「研修体制の充実により、専門性を高め」の表現を、専門家の意見を取り入れる、力を借りるなど、へ変更してほしい。 「親が子どもと触れ合う時間を持つことができる」と解釈すると、子どもと触れ合うことができる場所も提供するということだが、公園の充実はどうか。公園の数はあっても、整備され、安心して遊べる場所は限られているのが、倉敷市の課題だと感じている。
市	公園は80頁の3-10に記載している。
分科会長	内容として重なりが必要なものもある。そうした部分をどちらか一方の項目に集約するのか、または「再掲」といった形で二重に記載するのか、手法は様々あり、検討をお願いしたい。では、1-7について。
分科会長	先ほど少し話をしたので特にないようだ。では1-8については。
分科会長	繰り返しになるが、特別支援のノウハウを持った教員が不足しているために、ノウハウを持っていない教員が対応せざるを得ない環境にあると思う。研修も必要だが、人員の確保を早急をお願いしたい。
分科会長	では1-9について。
委員	「長期にわたる引きこもりなど」の部分で、就労については基本方針にあるが、「もう一度学習する機会」についても社会的に必要では。
分科会長	「社会参加や就労につなげる」の部分に、学習機会をとということか。
委員	例えば、就労しようとしても漢字が読めなければ仕事に就くことができないし、災害等で避難する際に、漢字表記では避難場所がわからないなど、そうしたことも長期の引きこもりの方の課題だと聞いている。
市	市の施策の基本方針において、2つ目に「自立に困難を抱えている若者などへの学習機会を提供し」等を間に入れるなどの対応を検討する。
委員	現状の5つ目に「インターネット環境の進展によって読書離れが進んでいます」と記載があるが、本当に原因はインターネットなのか。ネット等のモバイルを使用して読書をされている方もおり、図書館でも電子図書として利用したい方が今後増えてくるのではないかと思っている。本当の読書離れの原因について、確認をお願いしたい。
市	インターネットについては、第4分科会でもそうした意見があった。インターネットやIT化が悪い捉え方しかないが、IT化が遅れている中でもっと推進しなければいけないので、表現等を整理するよう担当課に伝える。
委員	インターネットを悪者にするのはおかしい。確かにインターネットでユーチューブを見るなど、読書がおろそかになっている実態もあるが、インターネットを敵にするのではなくて味方にしないといけない。
分科会長	冊子全体を通しての意見もお願いしたい
委員	各頁の右下の、具体的な数値目標である指標は非常に大切だと思う。

	<p>極力、数値化しないといけないが、教育の中で測れるものと測れないものもあり非常に難しいと思う。指標がないと絵に描いた餅になるが、何を持ってくるのか非常に難しい問題があり、次回これを出してほしい。</p> <p>コロナという言葉を使わなくても、いろいろな場面でのITの活用、例えば、情報提供や相談体制、研修でも、対面でなくという言葉など、あちこちにニュアンスを入れることはできると思うので、IT化を意識していることが分かるような表現がよいと思う。</p> <p>老朽化した施設の写真等は、どうかと思う。それを載せるのであれば、完成後のイラストを入れるなど将来の姿も出してほしい。</p>
市	<p>図やグラフ、写真等について、1-9で、インターネットの進展と読書離れの関係が分かりにくいという話があったが、読書時間が減り、動画を見る時間が増えているなどがもし統計グラフ等で示せば、そうした現状とわかって良いと思う。しかしすべてのデータがあるわけではなく、出せない場合は図や写真で入れ込もうと考えている。</p>
委員	<p>国がある程度把握している数値をスライドすればよいのでは。</p>
市	<p>出典が確かなものがあれば使いたいが、求めるデータがなければ写真や図等になると思う。</p>
委員	<p>各項のまちづくり指標という枠は、どのようなことを記載するのか。</p> <p>できるだけアウトプット指標ではなくアウトカム指標と考えている。例えば、文化活動の推進をして5万人を6万人に増やすという指標を設けた場合、取組を行うことでそのような人が増えたとは言えても、それが文化の推進になったのかということは表しにくいところだ。この場合、文化に親しんだ人に関しては、アンケートに頼らないといけないかもしれないが、日頃そうした取組をしている人の割合などが数値で表せばよいと思う。担当部局も個別計画で様々な指標を設けており、合致するものがあれば使用したい。</p> <p>現行の第六次総合計画も指標を設け、例えば、働いている職場が子育てに対する理解があると思っている人の割合等、数値で取りにくいものはアンケート指標を設けた。整理して第七次総合計画でも示したい。</p>
委員	<p>第六次総合計画の指標をある程度踏襲したものにするのか、別の数字を盛り込むのか、イメージはあるか。</p>
市	<p>指標としては、踏襲するものもあれば、個別計画等でほかによいと思うものがあれば、変えていきたいと思っている。施策をきちんとした結果、こうした事ができたという指標が出ると最もよいが、そうしたものばかりではなく、担当部局と相談して次回までにこちらを埋めてご意見をいただきたい。</p>
委員	<p>10年前に作られた計画で、目標値と目指そう値が出ているが、達成率等はあえて公表しない方がよいか。</p>
市	<p>基本的には施策評価をしているので、最終的に第六次総合計画の最終年度が終了した後に、目標値と結果は出る形になる。</p>
委員	<p>1-9について、倉敷市独自の誇るべきプラネタリウムや博物館、美術館等も入れて、「倉敷っ子」ならではの感性を高めるなど、そうした</p>

	ものも入れたいと思っているが、どうか。
市	検討したい。
分科会長	アピールポイントは示しつつ、さらに充実させるということか。
委員	そうだ。他にこのような市独自のものはないので。
分科会長	身近に接しすぎていると、ありがたみを感じにくい。
委員	11 頁下段の図に、高梁川流域圏を進めているという表現があれば分かりやすいと思う。
分科会長	高梁川流域圏に関する子どもたちへの教育、啓発は学校で行っているか。
委員	流域圏の施設に小学生は無料で入ることができるが。ただ、毎年その冊子が配布されているかどうかはわからない。
市	新1年生に配る流域パスポートを持って行くと無料で入場できる。
分科会長	そこで自然に対する意識が高まるということか。
委員	我が家では1年生の時、大いに活用して、いろいろな所に行った。
市	図書館との相互利用で、新見の図書館で本を借りて帰って倉敷市で返すことができるなど、行った先で何かできるようにしている。
分科会長	小さい時から意識がお互いに共生しあって助け合ってきてやってきているということが自然に育まれるとよい。
分科会長	先ほどご質問があったまちづくり指標はどの段階で出てくるか。
市	できる限り次回までには入れたいと思っている。担当部局と調整し、指標の提案ができるとうよいと思っている。
分科会長	項目ごとに確認して、日頃意識から抜けている項目も再確認でき、本日指摘していただいた箇所について、更に発展させることもできた。事務局においては、更にブラッシュアップした計画案を作成していただき、次回の会でその内容を確認していきたい。

4. その他

5. 閉会